



# 桐生ロータリークラブ週報

2005年

国際ロータリー第2840地区 2004-2005年度 国際ロータリーのテーマ



## CELEBRATE ROTARY

R.I 会長 グレン E. エステス・シニア

善意というものがいいなら

ロータリークラブは唯の社交クラブだ。

職業は金儲けのためでしかなく、

社会奉仕というも施しにすぎず、

国際奉仕は外交以外の何ものでもない。

バストガバナー 前原 勝樹

会長 前原 正一 幹事 養田 隆

クラブ会報・広報委員会 堀 明・金子篤郎・塙越紀隆・須永博之

2月14日号

## 第2511回例会

( 2月 7 日(月) 第1例会 )

1. 点鐘
2. 国歌斉唱
3. 桐生市歌斉唱
4. 「四つのテスト」唱和
5. ロータリー情報アワー
6. 来訪者紹介
7. 結婚・誕生祝

8. 乾杯
9. 会長の時間
10. 幹事報告
11. 委員会報告
12. 卓話 「新入会員卓話」 須永 博之 君
13. 点鐘

### ようこそビジター

〈米山 優 学生〉

林 海軍 君

### ロータリー情報アワー

ロータリー情報委員会 阿部 高久君

先日、森会員の代理で2005-2006年度の第2回ガバナー補佐会議に出席して参りましたので、曾我ガバナー年度の組織や運営方針について幾つかお話をしたいと思います。

基本的な考え方は、各クラブがあつてRIがあるという地域主義の理念を基に、地区的組織・運営・予算を見直し、改革していくとする姿勢を強めています。ですから、地区目標・事業は当然ありますが、地区的テーマはつくらずRIのテーマを推進することになります。

先ず、従来の「アシスタント・ガバナー」という呼称を公式日本語訳の「ガバナー補佐」に改め、ガバナーの地区管理を補佐する公式な役職となります。当クラブの森ガバナー補佐予定者は桐生の5ロータリークラブを担当し、5RCの管理運営に関してガバナーを支援することが仕事です。そのために、他のガバナー補佐、地区委員会委員長、ガバナー・エレクトと十分な連携をとり、担当の5RCを効果的に支援するために、クラブ指導者と出来るだけ早く、密接な信頼関係を築くことが求められています。そこで、PETS前に5RCの会長エレクト・副幹事を招集し、クラブ目標について協議し支援することになります。

次に、地区組織で特徴的なことを幾つかご紹介いたします。

1つは、地区的組織を簡素化して、地区と各クラブがやるべき事業を明確にしております。職業奉仕と社会奉仕は各クラブがやるべき事業と考え、地区的委員会は置きません。即ち、委員がおりませんので、それぞれの担当副幹事がクラブへの情報提供を行い支援していきます。この様に各クラブの独自性を求めている訳です。

また、「ロータリー-21世紀委員会」を新設します。ク

ラブの21世紀ビジョンづくりとクラブ改革を支援することになりますが、これは桐生RCの総合企画特別委員会のような組織・事業になります。

一方、地区的行事ですが、PETSは1日開催になります。地区大会も簡素化し、1日開催。全員登録方式を廃止し、壇上にはRI会長代理夫妻とガバナー夫妻だけとなる予定です。

また、ガバナー公式訪問も大きく変わります。ガバナー公式訪問は9月以降となるので、現況報告書は全クラブ8月末までに提出することになります。そして5RCの合同例会の形で公式訪問が行われます。ガバナー補佐は、公式訪問に随連して行われるクラブ協議会に出席し、クラブの現状とニーズを把握し、ガバナーに報告することになっております。

とにかく、曾我年度では、『ロータリーの魅力再生への挑戦』ということで、既存クラブの強化助成を最重要課題と位置づけて、改革の動きを加速させていくようです。

### 結婚祝

佐藤 富三君 53年  
村田 勝俊君 24年



### 誕生日

久保田 裕一君	82歳
藤江 聰謙君	68歳
養田 駿君	59歳
川島 康雄君	57歳
山崎 一順君	56歳
塙越 紀隆君	54歳
村田 勝俊君	50歳
野間 義弘君	47歳



例会場 桐生俱楽部 TEL45-1513 例会日 毎月曜日 12:30PM

ホームページ <http://www.Kiryu.co.jp/Kiryurc/>

メール Kiryu-rc@ktv.ne.jp

## 会長の時間

- 本日11:30より…第8回理事会開催  
2月23日…ロータリークラブ誕生100周年  
桐生5RCでは、この日夜間合同例会開催予定。  
RC100周年記念事業／社会奉仕委員会中心に、水道山登口に案内板設置。
- 観桜会は3月28日(月)、市民文化会館1階レストランにて外の桜を眺めながら開催します。

## 幹事報告

- 國際ロータリー日本事務局より、2004年手続要覧が届いております。
- 東京RC会員熊平様より「抜萃のつづり」が寄贈されましたので、本日配布のロータリーの友に挟んであります。
- 群馬県国際交流協会より「インターフェクション」が届いております。
- 桐生南、桐生西、桐生中央、桐生赤城の各RCより週報到着。
- 例会終了後、次年度理事役員予定者会議が開催されますので、関係役員の方はご出席の程お願い致します。

## 委員会報告

### 出席委員会

本日の出席(平成17年2月7日)：総員62名・出席44名  
平成17年1月24日例会修正出席率：78.00%

### ニコニコボックス

村田勝俊君…結婚祝／養田君・藤江聰吉君・久保田裕一君・川島康雄君・村田勝俊君・山崎一順君・塚越紀隆君…誕生祝／森末廣君…新入会員卓話を須永会員にお願いします。／前原正一君…きょう一日、会員のみなさんにはかよいことがありますように。／藤井征夫君…暖かくなる迄体会します。吉野雅比古さん、村田勝俊さん、よろしくお願ひします。

### 雑誌委員会

ロータリーの友、2月号の一部内容紹介をさせていただきます。

横書きのP50に、2005日本国際博覧会「愛の地球博」にロータリー館が完成しました。長久手会場といいますからアクセスもそんなに悪くないと思います。是非皆さんおいでになって下さい。又、常時メークアップの取り扱いをしておりますので、ご利用下さい。

縦書きのP18に、「私のロータリー」と題して七戸の石井淳夫君のロータリーについて感じた事が大変わかりやすい文章で紹介されておりますのでご一読下さい。



卓話

「新入会員卓話」

須永博之君

昨年7月に入会させていただきました須永博之です。本年で4回目の年男を迎えます。どうぞよろしくお願ひいたします。私は、新入会員卓話を前回された川村さんや村田さんのような豊富な経験や個性豊かな生き方をして来ませんでした。そのため皆様に興味を持て頂ける様な話が出来ませんので、25年間仕事を通じて経験してきた話を中心に、お話をさせていただきたいと思います。

仕事は、(有)スナガ保険事務所として損害保険・生命保険5社の代理店をしています。保険募集だけではなく、最近は、企業や家庭の保険見直しや相談が非常に増えてきています。また、企業や団体などのリスクマネジメント導入相談やリスク対策などに関する相談も増えています。私の仕事は、お節介と有る意味でお人好し、付け加えれば、怖い人に負けない精神力が無いと出来ない気がしています。

さて、子供の頃の我が家は、自営業をしておりまして、そのため祖父母に幼少期は育てられたように記憶しております。祖父母からは、「大人になったら人様に役に立つような人間になれ」「悪い事するとお天道様は、見て

いるぞ」と何度も何度も呪文のように言われておりました。いつの間にやら私の心の中には、その言葉が刷り込まれ今でもとても大切な戒めとして残っております。ですから、その言葉は、就職活動にも影響しました。現在の仕事である保険事務所を選んだのは、大学1年の頃起こした交通事故がきっかけでした。事故後困っていた私や家族を救ってくれたのが今の私と同じ職業の方です。4年生になり事故の記憶も薄れていた頃、リクルート社から送られた就職の雑誌の中に保険代理店の仕事を見つけました。大好きなふるさとに戻り人様の役に立つような仕事が出来る。それが私の大人としてのスタートでした。以来25年間たくさんのお客様の交通事故等トラブルを経験させていただきました。仕事柄、ほとんどの人があまり経験しない事故や災害、急病や急死など突然接する機会が多く、その対応を的確にする必要があります。損保・生保含めて、年間数百件の保険金支払があります。そういった機会を数多く経験すると、この世の不思議さと人生の儚さ、人の醜さを時に痛感させられます。25年間の経験から私は二つの人生訓を持つようになりました。一つ目は、「笑う角には福来る」という古くからの言葉です。笑顔が絶えない家庭や企業には、事故やアクシデントは起きない。反対に、余裕の無いギスギスした家庭や企業は、事故や病人が出てしまうと実感しています。大病をしても笑顔を絶やさない方は、回復が早く再発もしないように思います。二つ目は、「災害は、前兆が有る」という事です。事故を起こした人や急なアクシデントに遭遇した人にその原因を聞いてみると、交通事故で言えば「ヒヤリ・ハット」の予兆を事前に経験している事が多く、その予兆を感じた時に認識する事で、確実に予防につながるということです。

さて、昨年は災害が多くありました。皆様あまり聞いていない話だと思いますどの位の保険金が支払われているのか等を調べてきました。

損保会社合計で、2004.9の台風18号で2,673億円でした。過去最大は、1991.9の台風19号で5,679億円です。また、去年は、7月の新潟福島豪雨で150億円、7月福井豪雨で63億円、10月台風23号は、885億円など合計5151億円の支払があり、過去最大規模の支払があったそうです。

また、地震では、中越地震で138億円(見込みを含む)と言われており、阪神淡路大震災の783億円を含め、台風などの災害に比べ保険金の少なさに意外と感じる人は多いのではないかでしょうか。この原因は保険加入率の高い火災保険(約50%)に比べ地震保険(約17%)にあると思います。また、自動車保険の加入率は、対人で見ると平均約70%で、地域別に見ると最高は、東京の85%、最低は沖縄の50%です。また地域性もあり同じ四国でも香川70%、高知54%となっています。群馬は、67%首都圏で最低です。地震保険は、全国平均17.2%、群馬8.4%と最低ランクです。

また、今後の保険業界について消費者として知っておいたほうが良いことがあります。

それは、2007年以降の保険業界の激変であります。おそらく保険会社の統廃合や倒産不安の再燃が有るかもしれません。一つの予兆をお話しすると保険代理店は、1996年に623,741店でしたが、2003年は、305,836店に激減しています。しかし、保険募集人として登録している人は1996年の118万人から2003年は、171万人に激増しています。この要因は、2007年に実施される銀行の保険商品窓販解禁が大きく影響しており銀行員等による保険募集人資格の取得に有ります。また、郵政民営化や農協共済の代理店化、通信販売やコンビニによる保険販売、共済の淘汰など保険業界はこれから激動の時代に突入してゆきます。

そこで、消費者として皆さんは、今以上、賢くならなくてはいけないと思います。主役は、お客様である皆さんですが、販売する側の都合で押し売りや圧力、義理人情など今後は益々、過当競争に巻き込まれます。自分や企業にとってどんなリスクがあるか、そのための効果的・効率的な保険加入が出来ているのかその選択の重要性と皆様が主導権を握った保険加入こそが大切になってきます。

時間が有れば、私の生きがいでもあるボランティア活動について話をさせて頂きたかったですが、機会がありましたらロータリーの皆様方にお世話をしています桐生市ボランティア協議会やNPOわたらせライフサービスの事を坪井さんと一緒にお話をさせていただきたいと思います。